

# 社会

社会科に求められる資質・能力の育成に向けては、知識や技能を習得・活用して思考・判断・表現しながら課題を解決する学習過程とし、説明中心の授業展開から課題を追究したり解決したりする活動を充実した授業になるよう、日常の授業の見直しを図ることが大切です。

## 社会科の授業づくりのポイント

- 課題を追究したり解決したりする問いの設定
- 考える場面と教える場面の組み立てを意識したタイムマネジメント

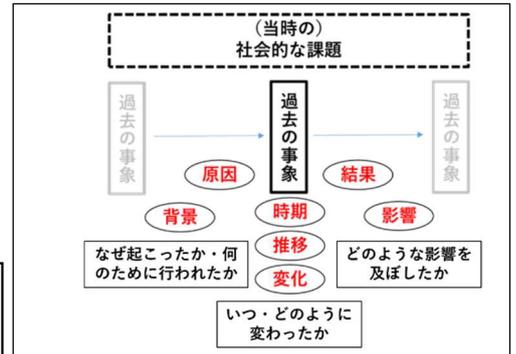
## 課題を追究したり解決したりする問いの設定

社会科では、既得の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことで、個別の知識の定着を図るとともに、社会的な事象相互の結び付きなどを捉えることができる力を育成することが求められています。

そのため、社会で行われている様々な取組等を「社会的な事象」として捉え、社会的な見方・考え方を働かせた「問い」を設定し、追究していく学習が重要です。(図1参考)

### 【Check!】

北海道公立高等学校入学者選抜検査問題では、社会的な事象相互の結び付きなどを問う問題が出題されています。

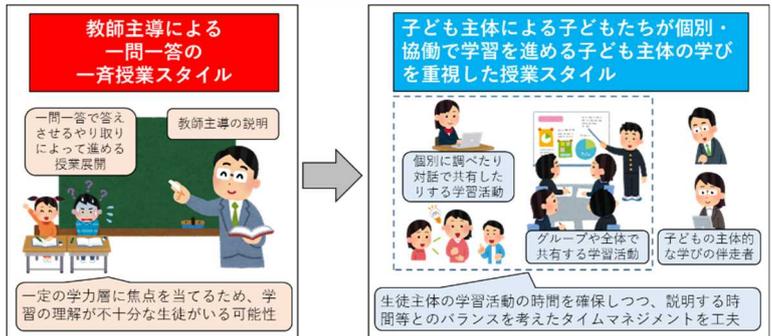


【図1 見方・考え方を働かせた問いのイメージ（歴史的分野）】

## 考える場面と教える場面の組み立てを意識したタイムマネジメント

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、個人で端末を活用した調べ学習を行ったり、考えたことを他者と共有する活動を取り入れたりするなど、子ども主体の学びを重視することが大切です。(図2参考)

そのため、教師主導の説明中心の授業からの転換を図り、1単位時間の授業のタイムマネジメントを工夫することが重要です。



【図2 社会科の授業イメージの転換】

## 授業イメージの転換を図った板書例

**Before**

学習課題：新政府の政治方針

- 明治維新とは  
= 新政府による幕末から明治の初めにかけての一連の改革  
・ 一世一元の制  
・ 江戸を東京に改称  
・ 「御一新」→人々の期待
- 明治維新の流れ  
・ ●●年 ~~~~~  
・ ●●年 ~~~~~

【生徒の活動】板書の説明をワークシートに記入

**After**

学習課題：新政府の政治改革は江戸時代からどのように変化したか

<学習の流れ>  
情報収集：教科書、資料集、端末  
整理・分析：端末で協議  
まとめ・表現：端末でワークシートに記入

【生徒の活動】多様な方法で収集した情報を共有し、協議しながら整理・分析

①本時で追究する課題を問いの形で設定

②本時の学習の流れや学習方法を生徒と共有

③ねらいとする資質・能力を發揮して生徒が記述できるワークシートを用意